



## 家族や地域、職場は なぜ絆を失ってしまったのか ～無縁社会の現実から新しい絆を考える～

家族や地域・職場などで急速に人と人のつながりが失われている。一人世帯が急増する「単身化」の時代、激変する働き方や価値観、ライフスタイル。無縁社会は、今、あらゆる世代に広がっているという。なぜ絆がなくなったのか。絆を失った社会が人々にもたらしているひずみの現実と、問題の社会的背景を学ぶ。また、未来に向かって連帯社会を築くにはどうすればよいのか、あらたな連帯、つながりについて考える。



### プログラム

- ◆14:05～  
【NHKスペシャル「無縁社会」について】
- ◆15:00～問題提起  
講師：奥田知志さん  
（認定NPO法人北九州ホームレス支援機  
構理事長・東八幡キリスト教会牧師）
- ◆16:00～ゼミナール  
「新たな絆」をテーマに現状を分析し、  
解決策を話し合います。

開催日：2010年5月24日（月）

開催時間：14：00～

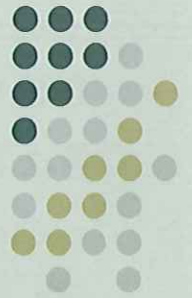
会場：琵琶湖ホテル3F「瑠璃の間」

お問い合わせ先：077-524-9970（担当：小石）

参加希望者は、裏面の申込書をFAXください。



自治労滋賀県本部 テーマソング創作委員会  
第2回セミナー（社会編）



★問題提起★

## 「助けて」といえない社会 これていいのか

勉強会は、4月3日にNHK総合で放送された「無縁社会 私たちはどう向き合うか」にコメンテーターとして出演された奥田知志さんをゲストに迎える。奥田さんは地縁・血縁が崩壊した社会には絆の社会的制度化が必要という。「助けて」といえる社会をつくることを訴えている。



### ゲストのプロフィール

おくだ ともし

#### 奥田 知志 さん

（認定NPO法人北九州ホームレス支援機構  
理事長・東八幡キリスト教会牧師）

- ・1963年、滋賀県大津市出身。関西学院大学神学部大学院修士課程卒業、西南学院大学神学部専攻科卒業。学生時代に訪れた大阪市・釜ヶ崎（現：あいりん地区）の日雇い労働者の現状を目の当たりにし、ボランティア活動に参加したことがきっかけで、牧師の道を歩み始める。

### 『無縁社会』とは・・・

1月末に放送されたNHKスペシャル「無縁社会」。放送後、“無縁“な人たちの間で、大きな反響を呼んでいる。

NHKに届いた反響は1500件を超え、その多くが、「無縁な自分の将来が不安だ」と訴える内容だった。とりわけインターネット上では、「無縁死」「無縁社会」という単語も高い関心を呼び、検索ワードランキングを駆け上がる現象も見られ、「祭り」といわれる異常現象が頻発。視聴者が番組を見ながらネット上に書き込みをするツイッター、掲示板、ブログで数十万を超える異常な頻度で書き込みがあった。

社会と個人のつながりが薄れつつある日本社会で必要とされる「絆」の新しい形とは何か、について社会に問題提起した番組であったといえる。

参加申込書 氏名：

所属（単組名、職場など）：

FAX  
077-528-2065



自治労滋賀県本部 テーマソング創作委員会

大津市中央3-4-29

電話 077-524-9970  
FAX 077-528-2065  
Email: info@jichiroshiga.jp